

2021年04月27日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【ゴールデンウィーク直前】

本日は、4月27日。ゴールデンウィーク直前です。

今週は、4月25日の日曜日から、3回目の緊急事態宣言の期間に入っています。

今回の緊急事態宣言は、東京、大阪、兵庫、京都の4都府県のみを対象としており、それぞれの近隣県との関係では、どのような結果になるのだろうか、と危惧しています。

(効果が、十分にあるのだろうか?)

+++++

また、過去2回の緊急事態宣言と比べて、その期間が極端に短く、そのような短期間で、効果が期待できるのか、大いに疑問です。

東京オリンピックを控えているので、その開催を大前提に、3回目の緊急事態宣言が行われたのだろう、と勘ぐっています。

(国民の安全よりも、東京オリンピックなのだろうか?)

+++++

ただし、個人的には、緊急事態宣言下であり、外の天気も良いので、気分は、既に、ゴールデンウィークのような雰囲気です。

+++++

4都府県以外の観光地は、緊急事態宣言の対象外ですから、ゴールデンウィーク期間も、「書き入れ時」の思惑が、きっとあるのだろう、と推察します。

しかし、人口の圧倒的に多い4都府県が宣言下にあるので、その経済的なマイナスの影響は大きいのだろう、とも考えます。

(4都府県以外の観光地に、多くの人が出向くのだろうか?)

+++++

現政府の行っている「コロナ対策」は、どうも中途半端で、ちぐはぐ、行き当たりばったり、といった感が否めません。

+++++

そもそも、日本のゴールデンウィークの期間は、全世界の外国為替市場で、市場参加者が極端に少なくなります。

市場参加者が少なくなると、プライス（値）が飛び易くなり、極端で、突飛な値動きになることも、稀にあります。

もちろん、突飛な値動きは、必ずではないので、市場参加者が少ない中、プライス（値）が、ほとんど動かないようなケースもあります。

いずれにしても、ゴールデンウィーク期間中は、積極的に相場に参加する必要が無い、と考えます。

だから、今年のゴールデンウィークは、緊急事態宣言下でもあり、積極的に、休みを取って、英気を養うことに集中しよう、と考えています。

+++++

本日（4月27日）は、日銀の政策決定会合がありましたが、現時点で、注目すべき内容は無かった、と考えます。

今日明日（4月27日、28日）は、FOMCですが、今回のFOMCでは、特筆する内容は出ないのだろう、と考えています。

今回のFOMCの内容で、驚く程の大きな変化があれば別ですが、そうでない限り、ゴールデンウィークを控えているので、多くの市場参加者は、積極的に取引を行わないだろう、と考えます。

+++++

（2021年04月27日東京時間15:30記述）